

学生議会における 市政に対する一般質問

15人の学生議員が市政全般について質問を行いました。学生議員が質問を考えるにあたり、事前にサポート議員がアドバイスをを行い、当日の回答にあたっては答弁議員が対応しました。

Q 越谷市に所在する大学の関係者へのプロモーションについて

高部 美優貴

学生議員



答弁議員

小林 成好 議員

サポート議員

後藤 孝江 議員

問 越谷市は、市内に所在する文教大学や埼玉県立大学と大学連携に関する包括連携協定を締結しているが、どのようなことを行っているのか。また、学生のシビックプライドを育む方策は。

答 市内大学のホームページに記載の連携事業実績のほか、今後は、教育の場の提供や市の就職マッチングフェアなどを開催していければよいと考えている。シビックプライドについては、市内に住む、働く等、長い時間留まることで、市を深く知り、新たな発見をすることで醸成されるものと考え。市としては、市に住んでいただけるような仕組みや政策を充実させるべく、取り組んでいく。

Q 学校教育におけるICTの取り入れについて

太田 愛花

学生議員



答弁議員

野口 高明 議員

サポート議員

菊地 貴光 議員

問 児童生徒一人一台によるタブレット端末の保持の実現が進んでいるが、情報モラルに対する教育は行っているのか。また、端末の使用により発達段階の影響が考えられるが、心身の保護のために行っていることは何か。

答 情報モラル教育は、教師から子どもという指導だけではなく、児童生徒主体で作成した共通ルールをもとに、児童生徒自らの主体性を持った教育を今後も進めていく。また、端末使用による心身を保護するため、端末使用時に姿勢の乱れが起きないように指導を行うことや教職員向けのICTに関する研修の実施、保護者・児童生徒向けの相談体制の強化を行っている。

Q 市内に設置されているAEDについて

追田 蘭々

学生議員



答弁議員

守屋 亨 議員

サポート議員

瀬賀 恭子 議員

問 緊急事態はいつ、どこで起こるかわからないため、特に主要な施設については必ずAEDを設置してほしいと考える。また、施設利用者以外の人などが使用できるように、施設の外に設置してほしいと考えるが、設置の現状と今後の方針は。

答 市では平成18年度からAEDの設置を進め、現在178台を維持管理している。さらに、公共施設の屋外設置、コンビニ等92か所のAEDが24時間使用可能となっている。AEDの普及は、設置数を増やすことに重点が置かれてきたが、今後はより効果的かつ戦略的な配置と管理を進めていく必要がある。設置場所の周知についても推進に努めていきたい。

Q 学生の部活動に関する越谷市の支援について

佐藤 隆則

学生議員



答弁議員

立澤 貴明 議員

サポート議員

金井 直樹 議員

問 国は教員の働き方改革により、中学生の部活動の地域移行を2023年度に始めることを示している。地域移行によって、生徒がどの程度自由な活動ができるのか。また、安全性の確保は。

答 本市においては、国、県の方針に沿って、今後、具体的な推進計画を策定することとなるが、現状においては、国、県の方針が定まっておらず、具体的対策については検討されていない。今後は国、県の動向を注視し、地域の多様なスポーツ・文化団体等による受け皿の整備、指導者や予算、施設の確保、大会・コンクールの在り方等さまざまな課題に対応し、計画を定めていくこととなる。

Q 若い世代の検診受診率を向上させるための方法について

藤村 彩花

学生議員



答弁議員

松田 典子 議員

サポート議員

島田 玲子 議員

問 検診受診率および予防接種率の向上のため、アプリやSNSを活用する考えは。また、現在、越谷市が若い世代に向けて行っている郵送以外の周知方法および今後の方向性については。

答 毎年4月に当該年度の保健事業を案内する「こしがや保健ガイド」を広報紙と同時配布している。また、健康マイレージ事業で、検診を受診した際のインセンティブポイントを付与するなど、他の事業との連携・周知も図りながら検診の受診率向上に努めている。市では、健康増進に関するアプリは開設していないが、今後、SNS等活用し、市民ニーズに応じた適切な周知方法を調査・研究していきたい。

Q 越谷市外国籍市民について

中山 元揮

学生議員



答弁議員

大田 ちひろ 議員

サポート議員

伊藤 治 議員

問 越谷市では越谷市多文化共生推進プランを策定し、「お互いに認め合い人権を尊重する社会づくり」の達成に向けて多くの側面から外国籍市民をサポートしている。外国籍市民の生活は、プランの施策前よりの程度豊かになっているか。

答 外国籍市民が安心して暮らすことができ、主体的なまちづくりへ参加できる環境づくりが重要であり、多文化共生社会を実現するための各種施策を展開しているところである。外国籍市民の中には、本市を選んで来ていただいた方も少なくないと考えている。外国籍市民が少しでも本市での生活を豊かだと感じていただけるよう、プランを推進していきたい。

